

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成29年5月16日（火）
場 所	西都市、西米良村、湯前町 ※西都市（出発式） → 湯前町（解散式）
目 的	国道219号現地調査（三市町村議会国道整備促進合同協議会）

報 告 の 内 容	<p>◆研修内容</p> <p>1. 工事概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西都土木事務所と球磨地域振興局の案内で、三市町村（熊本県湯前町・宮崎県西米良村・西都市）議員による国道219号の現地調査を行った。 ・国道219号は、熊本市から宮崎市に至る九州中央山地沿線の経済活動を支える大動脈として重要な幹線道路（約200km）。 ・平成29年度は、全体で4工区を計画。 ・整備も年々進んでいるが、特に西米良村から西都市区間において未整備／未改良部分がまだ多く残っている。改良率は、約71.5%。 <p>平成28年度事業費は約16億7千万円、平成29年度当初予算は約9億4千万円。本年度予算のままだとかなりの工期となるため、更なる予算確保が求められる。</p> <p>昨年度と同様に、補正予算での対応になると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯前町は用地買収が難航している。
-----------------------	---

2. 今回視察した工事区間（4工区）

(1) 国道219号岩下工区【西都市】

- ・整備延長1.0km、幅員7m（車道部5.5m）の拡幅整備。
平成33年度に完成予定。
- ・岩下トンネル（611m）は平成30年度以降に着工、岩下橋（84m）は平成29年度に着工予定。
- ・高低差が70m～80mあり、トンネルを直線的に結ぶことができない。



[↑岩下工区のトンネル予定地（道先）]

(2) 国道219号小春工区【西米良村】

- ・整備延長1.7km、幅員7m（車道部5.5m）の拡幅整備。
- ・第2トンネル（483m）は平成29年度に着工、2号橋（69m）は既に着工中。



[↑小春工区の第2トンネル予定地]

(3) 国道219号越野工区【西米良村】 ※新規

- ・整備延長780m、幅員7m（車道部5.5m）の拡幅整備。
- ・平成29年度は、主に調査設計を行う。



[↑ 越野工区の工事予定地]

(4) 国道219号 湯前上里歩道整備工事【湯前町】

- ・整備延長300m。
- ・総事業費は約3億円（平成28年度事業費は、用地買収で700万円）。
- ・事業期間は当初平成24年～28年度だったが、平成31年度になった。
用地交渉が2～3件残っている。
- ・平成29年度は、引き続き建物調査、用地買収を実施予定。



[↑ 湯前上里歩道整備（右側歩道）]

(5) その他・・・西米良村 土砂災害現場

- ・ 5月12日から13日にかけての大雨で、13日午前7時頃に災害発生。
- ・ 幅55m、高さ80m、約2,000m³の土砂崩れで国道219号が全面通行止め。
- ・ 災害復旧に時間を要する。



[↑西米良村商店街から西都市へ数百メートル地点]

3. まとめ

- ・ 国道219号の宮崎県内区間約70kmのうち、西米良村～西都市区間は約60km、その内の約3割が未整備／未改良区間であり、緊急輸送道路、観光道路、産業道路として十分に機能していない状況にある。
- ・ 宮崎自動車道は築30年を過ぎ、南海トラフ地震などで高速道路が通行止めになった場合、国道219号は重要な緊急輸送道路となる。熊本地震の教訓からも、道路インフラの重要性を改めて感じる。
- ・ 本協議会において国道219号の重要性を3市町村で共有し、今後も国・県に対して道路整備の要望を続けていくことを確認した。